

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	商工振興一般管理事業			310102	担当課	産業観光課			
	開始年度	平成1(1989)		終了予定年度	平成32(2020)		作成責任者	前田 剛		
	歳出費目	款) 商工費	項) 商工費	目) 商工業振興費	決算附属資料		180・182	頁		
	施策の大綱	商工業の振興			関連計画等	-				
	施策名	商業を活性化する			根拠法令等	-				
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )								
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	福知山市の商工業振興及び産業の発展並びに雇用の促進、中心市街地活性化等を図るための各事業の更なる充実と向上を図る。								
	対象者	市民		対象者数	79,471		一人当たりコスト	0.05		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等>								
	事業概要	福知山市の商工業振興及び産業の発展並びに雇用の促進、中心市街地活性化等にかかる各事業を行うための事務的経費。								
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項 目		具 体 的 な 内 容					H29経費	
		役務費		通信運搬費、手数料、筆耕料、保険料					845	
賃金		臨時職員 賃金					362			
需用費		消耗品費、印刷製本費、光熱水費、高速道路使用料					222			
旅費		職員旅費					210			
備品購入費 他		備品購入費103千円、負担金補助15千円、使用料14千円					132			
関連事業										
予算と執行の 状況	区 分			H28	H29	H30	H31要求			
	事業費	当初予算・・・①		1,110	1,200	1,282				
		補正予算等・・・②		820	599	0				
		繰越し等・・・③		0	0	0				
	財源内訳	一般財源		1,930	1,799	1,282				
		国支出金		0	0	0				
		府支出金		0	0	0				
		地方債		0	0	0				
		その他特財		0	0	0				
		特定財源名称 (H29実績)							頁 頁	
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		1.19/0	0.31/0	0.31/0				
概算人件費・・・④		9,520	2,480	2,480						
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			11,450	4,279	3,762					
執行状況	執行額・・・⑥		1,930	1,771						
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		100.0%	98.4%						
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指 標	単位	H28	H29	H30	最終目標			
				/	/	/				
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指 標	単位	H28	H29	H30	最終目標			
		内部・関係機関との協議	回	12/12	12/12	/12				
		単位あたりコスト		160.8	147.6					
			回	/	/	/				
	単位あたりコスト		0.0	0.0						

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	必要物品等を滞りなく用意することにより、課の運営に貢献した。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	事務管理的経費として、一括管理ができることで、産業振興課における各事業の事務処理を円滑に行うことができる。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	事務管理的経費として、各事業の円滑な推進に寄与している。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	商工業振興及び産業振興を推進するための事務については最小の経費で実施している。本事業により、その他の各事業が円滑に行っている。	
	今後の課題及び方向性	今後においても引き続き事務の簡素化や効率化を図り、経費削減に努める。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
	予算への反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
		予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	中心市街地誘客・回遊促進事業			310166	担当課	産業観光課			
	開始年度	平成29(2017)		終了予定年度	平成32(2020)		作成責任者	大西 孝治		
	歳出費目	款) 商工費	項) 商工費	目) 商工業振興費			決算附属資料	182	頁	
	施策の大綱	商工業の振興			関連計画等	福知山市中心市街地活性化基本計画				
	施策名	商業を活性化する			根拠法令等	-				
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )								
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	中心市街地の特色を住民自らの力で引き出していくことを目指した取り組みを行い、回遊性を高めるとともに、中心市街地の魅力を発信し、誘客を促進することで、中心市街地に賑わいを生み出す。								
	対象者	観光客及び市民		対象者数	946,618		一人当たりコスト	0.01		
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等> 福知山まちなかフェスティバル実行委員会								
	事業概要	商工業関係者・鉄道関係者・行政等で構成される実行委員会が実施する事業に対して補助金を交付する。 H29年度は台風21号により中止となった。(中止に伴い、国庫補助事業ではなく市単独事業となった) 【実行委員会事業概要】 ・ミニSL乗車会(※平成30年度は御霊公園内のみで実施予定) ・各商店街等イベント								
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容				H29経費		
		負担金補助及び交付金		中心市街地誘客・回遊促進事業補助金				4,310		
関連事業										
予算と執行の状況	区分			H28	H29	H30	H31要求			
	事業費	当初予算・・・①		0	8,300	1,000				
		補正予算等・・・②			△ 3,990	0				
		繰越し等・・・③		0	0	0				
	財源内訳	一般財源		0	4,310	0				
		国支出金		0	0	500				
		府支出金		0	0	0				
		地方債		0	0	0				
		その他特財		0	0	500				
		特定財源名称 (H29実績)					頁 頁			
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0/0	0.73/0	0.73/0	/			
概算人件費・・・④		0	5,840	5,840						
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			0	10,150	6,840					
執行状況	執行額・・・⑥		0	4,310						
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		-	100.0%						
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標			
		来場者数	人	/	0/20,000	/10,000	/20,000			
				/	/	/				
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標			
		同時開催イベント数	事業	/	0/13	/10	13			
		単位あたりコスト		0.0	0.0					
		/	/	/						
	単位あたりコスト		0.0	0.0						

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	中心市街地でのイベントが減少し、活気が失われていくなかで、ミニSLイベントや新たなイベントを待ち望む市民の声は多く、民間と行政が一体となって取り組む必要がある。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	行政主体ではなく、実行委員会主体で取り組み、さらに民間業者への業務委託も有効に活用することで、事業の円滑な実施を行うことができる。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	過去に開催されていた「鉄道ワンダーランド」の開催内容を分析し、適切に設定されている。(平成29年度は台風により中止。平成30年度は道路工事により御霊公園内のみ)
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	平成29年度から開始したが、平成29年度は台風により中止した。 なお、事業は中止となったものの、事業開催準備に伴い発生した機材購入等の需用費及び既に業務が履行されていた広報業務等の委託料などに対する補助金を支出した。	
	今後の課題及び方向性	商店街、鉄道関係者などとの連携をさらに深め、市民が注目し、訪れてみたいと思えるような魅力ある事業を実施し、来訪者を増やし、中心市街地の賑わいを生み出していく。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント中止の結果・最終的に要した費用について明確にしておくこと(記載も含む)</li> <li>・イベントの成否のみならず、市民的な盛り上がり・ボランティア等の協力・協賛金の獲得など、今後の方向性を占う点については客観的に評価すること</li> </ul>		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充				

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	福知山城憩いの広場(ゆらのガーデン)管理事業			310202	担当課	産業観光課		
	開始年度	平成24(2012)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	大西 孝治			
	歳出費目	款) 商工費	項) 商工費	目) 商工業振興費	決算附属資料	182・184	頁		
	施策の大綱	商工業の振興			関連計画等	中心市街地活性化基本計画			
	施策名	商業を活性化する			根拠法令等	-			
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )							
基礎情報	事業目的(あるべき姿)	平成24年4月24日にオープンした市民憩いの広場と7つのショップ群からなる福知山城憩いの広場「ゆらのガーデン」を、出店者協議会や市民参加のガーデニングサークルと連携を図りながら中心市街地への回遊の拠点として、また、街のシンボルとなるお洒落な“四季の彩に満ちた和み空間”として維持管理することにより、市民や来街者が憩える場を提供するとともに、関連事業との連携により、まちなかへ誘導していくことで、まちなかの活性化につなげる。							
	対象者	観光客及び市民	対象者数	946,618	一人当たりコスト	0.01			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 〈委託先・実施主体等〉 西日本エスエスシー、(社)福知山シルバー人材センター							
	事業概要	「四季の彩りに満ちた和み空間」をテーマにゆったりとしたより良い時間を過ごせる魅力的な空間にし、中心市街地への回遊の拠点としての機能を発揮させるため、市民参加のガーデニングサークルと連携を図りながら、良好な維持管理を実施する。							
	主な経費と具体的内容(H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費		
		委託料		植栽・芝等維持管理業務、日常清掃等維持管理業務他			2,048		
需用費		光熱水費、修繕料、消耗品費			971				
負担金補助及び交付金		ガーデニングサークル運営交付金			500				
役務費		通信費、廃棄物搬入手数料、保険料			251				
備品購入費		ゴミストッカー購入費			214				
関連事業									
予算と執行の状況	分			H28	H29	H30	H31要求		
	事業費	当初予算・・・①		5,251	4,484	4,159			
		補正予算等・・・②		△ 51	0	0			
		繰越し等・・・③		0	0	0			
	財源内訳	一般財源		2,573	2,199	2,026			
		国支出金		2,572	2,198	2,026			
		府支出金		0	0	0			
		地方債		0	0	0			
		その他特財		55	87	107			
		特定財源名称(H29実績)	地方創生推進交付金		1,016	国補助金	18 頁		
		占用料等		95	使用料	10 頁			
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.74/0	14	0.33/0			
概算人件費・・・④		5,920	2,640	2,640					
②+③+④)・・・⑤			11,120	7,124	6,799				
執行状況	執行額・・・⑥		4,853	3,983					
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		93.3%	88.8%					
業績指標	成果実績(アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		来場者数	人	136,463/135,000	117,173/138,000	/140,000	140,000		
				/	/	/			
	活動実績(アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		ガーデニングサークル活動参加人数	人	290/220	281/220	/220	220		
		単位あたりコスト		16.7	14.2				
広場利用回数		回	31/12	13/12	/12	12			
	単位あたりコスト		156.5	306.4					

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	市民参加型サークルと協働で管理することにより、中心市街地への回遊の拠点として、中心市街地活性化と福知山の魅力発信につながる必要不可欠な事業である。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	福知山市中心市街地活性化基本計画ファーストプロジェクトであり、広場の活性化を図ることは、中心市街地への回遊の拠点であるため、有効な事業である。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	官民協働で維持管理を行うことで効率的に事業が実施できており、街のシンボルとなるべくより多くの市民や来街者に憩える場が提供できている。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	<p>水害等の影響でテナント数が一時的に減少していたこともあり、来場者は減少したものの、市民参加のガーデニングサークルとの協働により、適切な維持管理が図られている。</p>	
	今後の課題及び方向性	<p>平成30年3月より、全テナントが開業し、集客の伸びも期待できることや、市、ガーデニングサークル、福知山まちづくり会社、ゆらのガーデン出店者協議会が連携し、今後も維持管理を継続し、まちなかの活性化につなげる。</p>		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	<p style="text-align: center;">所 見</p> <p>・市の土地、まちづくり(株)の店舗建物、出店テナントの中で、今後は管理コストを吸収していけるように、管理エリア、内容を区分していくべき内容である。H32年以降は商業スペースとしてテナント代の中に管理費を組みこめるようなやり方も検討を。</p> <p>・目的はまちなかの商業の活性化なので、その目的を達成する仕掛けがされておらず、公園整備をすることで事業が完結してしまっている。故に、事業内容も見直しが必要であると考え、成果指標も、まちなかの商業の活性化を図る指標を再検討する必要があるのではないか。</p> <p>・出店店舗も、費用負担をしていく方向で検討されてはいかかが。</p> <p>・まちなか回遊につなげる仕掛けが今後ともめられる</p> <p>・ガーデニングサークルの活動の場を広げたり、PRしたりする工夫があると良い</p> <p>・ガーデニングサークルへの補助対象については要精査(バス研修等)</p>		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<p style="text-align: center;">方針区分</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止/休止</p> <p><input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替</p> <p><input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し</p> <p><input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し</p> <p><input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し</p> <p><input type="checkbox"/> 事業の見直しなし</p>	内 容	
	予算への反映 【財政担当課記入】	<p>予算額の反映状況(対H30)</p> <p><input type="checkbox"/> 維持    <input type="checkbox"/> 組替</p> <p><input type="checkbox"/> 縮減    <input type="checkbox"/> 廃止/休止</p> <p><input type="checkbox"/> 拡充</p>	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	福知山鉄道館ポップランド運営事業			310209	担当課	産業観光課		
	開始年度	平成10(1998)	終了予定年度	平成29(2017)	作成責任者	大西 孝治			
	歳出費目	款) 商工費	項) 商工費	目) 商工業振興費	決算附属資料	184	頁		
	施策の大綱	商工業の振興			関連計画等	-			
	施策名	商業を活性化する			根拠法令等	-			
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )							
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	<p>「鉄道のまち」福知山を広くPRし、市内外からの来街者の誘導を促し、中心市街地活性化を図る。</p> <p>※平成29年度で事業終了(福知山鉄道館ポップランド2号館維持管理事業については、中心市街地活性化基本計画推進事業に統合)</p>							
	対象者	観光客及び市民	対象者数	946,618	一人当たりコスト	0.01			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 (委託先・実施主体等) 福知山鉄道館ポップランド運営委員会							
	事業概要	福知山鉄道館ポップランド及びポップランド2号館の運営並びにポップランドが行う企画イベントの実施、PRのための他イベントへの参加事業に対して補助金を交付した。また、当館内の旧福知山駅周辺のパノラマ模型(鉄道Nゲージ併設)の管理・監視、軽微な修繕、オートレール(パソコンソフトによる自動運転装置)の設定・調整業務を委託した。							
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費		
		負担金補助及び交付金		ポップランド運営事業補助金			2,000		
委託料		パノラマ模型維持管理業務委託料			710				
報償費		ポップランド2号館SL清掃作業謝礼他			130				
需用費		ポップランド2号館電気代・水道代・修繕料			68				
旅費、役務費		旅費7、役務費36			43				
関連事業									
予算と執行の 状況	分			H28	H29	H30	H31要求		
	事業費	当初予算・・・①		2,901	2,900	0			
		補正予算等・・・②			70	0			
		繰越し等・・・③		0	0	0			
	財源内訳	一般財源		1,451	1,520	0			
		国支出金		1,450	1,450	0			
		府支出金		0	0	0			
		地方債		0	0	0			
		その他特財		0	0	0			
		特定財源名称 (H29実績)	地方創生推進交付金			1,238	国補助金	18	頁
人員費		従事職員数(正職/嘱託)	0.30/0	0.25/0	0./0	/			
		概算人員費・・・④	2,400	2,000	0				
②+③+④)・・・⑤			5,301	4,970	0				
執行状況	執行額・・・⑥			2,848	2,951				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)			98.2%	99.4%				
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		来館者数	人	17,039 /12,000	23,213/18,000	—	—		
				/	/	/			
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		イベント開催回数	回	2/2	4/2	—	—		
		単位あたりコスト		1,424.0	737.8				
			/	/	/				
	単位あたりコスト		0.0	0.0					

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	鉄道のまちのシンボルとして、多くの市民から愛されている施設であるものの、施設の老朽化に伴い休館したことを機に、市民ニーズや民間導入について検討する必要がある。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	△	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	入館料制の導入なども含めて、施設運営のあり方を検討する委員会の設置に向けて、有識者及び関係者等と協議を行った。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	△	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	高校生と連携した事業実施など、運営者が工夫して運営しており、H29年度の来館者は2万人を越え、開館からの累計来館者数30万人を達成した。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	イベントの開催や展示物の紹介により、平成25年度には1万人を下回っていた入館者数が、平成29年度は2万人以上となり目標を達成し、市内外から中心市街地への誘客につながり、中心市街地の活性化に寄与した。	
	今後の課題及び方向性	施設の老朽化等により、H29年度末に施設を休館。今後については、あり方検討委員会の提言を踏まえて、総合的にあり方を検討する。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所見		
		・特になし		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	福知山パーキング管理事業			310247	担当課	産業観光課			
	開始年度	平成27(2015)		終了予定年度	平成32(2020)		作成責任者	大西 孝治		
	歳出費目	款) 商工費	項) 商工費	目) 商工業振興費			決算附属資料	184	頁	
	施策の大綱	商工業の振興			関連計画等	中心市街地活性化基本計画				
	施策名	商業を活性化する			根拠法令等	-				
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )								
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	中心市街地の大型駐車場である福知山パーキングの維持管理を適切に行うことで、市民や来街者が円滑に駐車することができようにし、まち歩きやまちなか観光を促進させ、中心市街地の活性化を図る。								
	対象者	観光客及び市民	対象者数	946,618		一人当たりコスト	0.01			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等>								
	事業概要	福知山パーキングに設置している駐車管理機器の賃貸借及びエレベーターの修理を実施。H30年度は、鉄骨の錆びが進行し雨漏り等の原因にもなるため、塗装工事を実施予定。								
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容				H29経費		
		使用料及び賃借料		駐車管理機器賃貸借料(長期継続1/5年目)				1,879		
需用費		修繕料				348				
関連事業										
予算と執行の状況	分			H28	H29	H30	H31要求			
	事業費	当初予算・・・①		980	2,040	4,680				
		補正予算等・・・②		0	189	0				
		繰越し等・・・③		0	0	0				
	財源内訳	一般財源		980	702	3,153				
		国支出金		0	0	0				
		府支出金		0	0	0				
		地方債		0	0	0				
		その他特財		0	1,527	1,527				
		特定財源名称 (H29実績)	御霊公園福知山パーキング貸付収入			1,527	財産貸付収入	30	頁	
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.02/0	0.05/0	0.05/0				
概算人件費・・・④		160	400	400						
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			1,140	2,629	5,080					
執行状況	執行額・・・⑥		0	2,228						
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		0.0%	100.0%						
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標			
		広小路通り歩行者自転車通行量	人	593 /850	754/867	/884	917			
				/	/	/				
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標			
		パーキング利用台数	台	47,948/41,500	49,605/45,600	/50,000	55,300			
		単位あたりコスト		0.0	0.045					
			/	/	/					
			0.0	0.0						

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	広小路界限、御霊公園など中心市街地の回遊の拠点となる重要な駐車場である。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	計画的に修繕や管理機器の賃貸借をすることで、コスト削減や効率化が図られている。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	計画的に機器の更新や施設修繕等を実施していくことで、施設利用者の利便性の向上につながる。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	まちなか回遊の拠点のひとつとして、まち歩き観光促進事業と併せて利用台数の増加が図られ通行量の増加に寄与した。	
	今後の課題及び方向性	駐車場の鉄骨部が錆びて塗装が剥離しているため、順次塗装修繕を行い施設の適正な管理運営が必要となっている。(H27年度に南面塗装修繕実施済み)		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・パーキングの所有に関して今後まちづくり会社に限らず民間に譲渡していく方向で検討した方がよいのではないか。その際は、商店街やまりづくり会社との今後の展望の共有や調整が必要。</li> <li>・対象者数は、平成29年度のパーキング利用者に修正すること。</li> <li>・まちづくり会社の運営状況等を踏まえ、将来的にはまちづくり会社への福知山パーキング譲渡を検討いただきたい。</li> </ul>		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充				

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	地域資源の活用と創業支援による交流人口倍増戦略事業			310252	担当課	産業観光課			
	開始年度	平成27(2015)		終了予定年度	平成32(2020)		作成責任者	大西 孝治		
	歳出費目	款) 商工費	項) 商工費	目) 商工業振興費			決算附属資料	184	頁	
	施策の大綱	商工業の振興			関連計画等	福知山市中心市街地活性化基本計画				
	施策名	商業を活性化する			根拠法令等	-				
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )								
基礎情報	事業目的(あるべき姿)	地方の商店街は、いずれの地域も郊外型やロードサイドへの大型店の進出、後継者難や店主の高齢化等により個店だけでなく組織としても新たな投資が困難となっている所が増加している。このため、従来にない公民協働の新たな事業モデルを戦略的に組み立て実施することで地域経済全体の循環を促し、中心市街地の賑わいと交流人口の倍増を図る。								
	対象者	観光客及び市民		対象者数	946,618		一人当たりコスト	0.01		
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 〈委託先・実施主体等〉 福知山フロント株式会社								
	事業概要	中心市街地活性化に取り組む福知山駅正面通りの福知山フロント株式会社が行う、商店街をベースに空き店舗等の利活用を提案することで飲食店やゲストハウス等を開設するとともに、広域的な地域資源の活用によりインバウンド観光等を盛り込んだ新たな観光面での受け皿を構築する事業に対して補助金を交付する。								
	主な経費と具体的内容(H29実績)	項目		具体的な内容				H29経費		
		負担金補助及び交付金		地域資源の活用と創業支援による交流人口倍増戦略事業補助金				6,000		
関連事業										
予算と執行の状況	区分			H28	H29	H30	H31要求			
	事業費	当初予算・・・①		6,000	6,000	6,000				
		補正予算等・・・②		0	0	0				
		繰越し等・・・③		0	0	0				
	財源内訳	一般財源		3,000	0	0				
		国支出金		3,000	3,000	3,000				
		府支出金		0	0	0				
		地方債		0	0	0				
		その他特財		0	3,000	3,000				
		特定財源名称(H29実績)	地方創生推進交付金			3,000	国補助金	18	頁	
			地域振興基金繰入金			3,000	基金繰入金	36	頁	
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.33/0	0.15/0	0.15/0				
概算人件費・・・④		2,640	1,200	1,200						
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			8,640	7,200	7,200					
執行状況	執行額・・・⑥		6,000	6,000						
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		100.0%	100.0%						
業績指標	成果実績(アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標			
		駅正面通りの歩行者・自転車の通行量	人	682/699	1,059/713	/727	/755			
				/	/	/				
	活動実績(アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標			
		駅正面通りでの新規開業数	件	2/2	1/2	/3	3/10			
		単位あたりコスト		3,000.0	6,000.0					
	回	/	/	/						
単位あたりコスト		0.0	0.0							

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	駅正面通りリニューアル事業は、第2期中心市街地活性化基本計画の主要事業の1つであり、駅正面通りの有志で設立された福知山フロント㈱と一体となり、着実に推進していく必要がある。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	地元に誇りと愛着を持つ人たちが構成された組織に対して補助金を交付することで、迅速に創意工夫をこらした取り組みが実施されている。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	事業の展開にあたっては、福知山フロント株式会社と情報を共有し取り組んでおり、無理・無駄がないように進めている。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	駅正面通り商店街の再生計画の策定、駅正面通り商店街(周辺含む)の空き店舗等の有無の調査、ゲストハウスや飲食店の開設に取り組んできた。 平成29年度は、平成28年度に開業した店舗の認知拡大及び新規店舗開業により、目標値を大幅に超えて達成した。	
	今後の課題及び方向性	今後は、これまでの事業の認知度をあげることで、空き店舗所有者の理解・協力のもと、更なるテナントの誘致を図る。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見 ・補助金事業ありきのスキームになりがちな事業でもあるので、H32年以降のスキームと目標を念頭に置きながら内容を見直し必要 ・アウトカム指標の見直し ・補助金先の業務活動がわかるような実績アウトプットの見直し ・事業の具体的な事業概要がわかりにくいので、もう少し概要を記載して頂きたい。 ・目的と成果指標を具体化して、成果を計ることが必要なのではないか ・きっかけづくりの事業であるはず。自走に向けたスケジュール、ビジョンを市・事業者と共有しておくべき		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
	予算への反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
		予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		